

## 日本語教育と会話研究を考える —これからの日本語教育のために—

2011年 2月18日(金) 16:30~18:30

### 第1部 16:30~17:30

「日本語学習者を含む会話における話題開始発話の分析  
—会話分析とその日本語教育への応用—」

初鹿野阿れ先生(名古屋大学特任准教授)

### 第2部 17:40~18:30

「学部留学生と日本人学生間における会話の分析」

発表者: SLADA 研究会

コメンテーター: 池田佳子先生(関西大学国際部准教授)

※各部に意見交換セッションを設けております。

- ・場所: 名古屋大学 文系総合館7階 カンファレンスホール  
(地下鉄名城線 名古屋大学駅下車 1番出口より徒歩5分 東山キャンパス 62番建物  
<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/map.html>)
- ・申し込み不要、入場無料

## セミナーについて

第1部では会話研究をご専門とされる初鹿野阿れ名古屋大学特任准教授をお迎えし、先生のご研究について、その成果、会話研究の難しさや面白さ、そして意義についてお話しさせていただきます。

第2部では学部留学生の日常会話を取り上げ、その分析を通して彼らが遭遇している会話を探り、日本語教育につなげる道を探りたいと思います。

第1部、第2部を通してコメンテーターに池田佳子関西大学国際部准教授をお迎えしました。また、各部の発表後、ご来場いただいた皆様方と会話分析・談話分析と日本語教育について議論を深めるために意見交換セッションを設けております。

会話研究、日本語教育に関わっている研究者、大学院生、教授者の方々、これらに関心をお持ちの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### SLADA 研究会について

SLADA (Second Language Acquisition and Discourse Analysis: 第二言語習得・談話分析) 研究会は、名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻の教員・大学院生を中心に2007年4月に発足しました。その活動において第二言語習得と談話分析にかかわるテーマ・問題発見及び研究会での研究の成果を教育現場や研究の場に還元することを目指しています。

### セミナー開催に際して

日本語教育の現場では、留学生が大学生活において遭遇するであろう場面を設定して、さまざまな会話教育が行われています。そのような日夜不断の努力が続けられているのにもかかわらず、学習者から「学部日本人学生の日本語がわからない」「会話の輪に入っていけない」などの声を耳にすることがあります。

そこで、私たちは会話研究で得られた知見をもっと日本語の会話教育に生かしたいと考えました。

そのために、研究者と日本語教育従事者の対話の場を創生することが必要であると考え、学生プロジェクトを企画しました。

### 企画

服部明子・田中典子・全鍾美・劉カクン(名古屋大学大学院国際言語文化研究科大学院生)及びSLADA研究会

### 連絡先

hattori.akiko@g.mbox.nagoya-u.ac.jp (服部)